



総務省

Ministry of Internal Affairs  
and Communications

## 地域人材ネット

### 「ローカル・ローテク・ローインパクト」 四万十川に負担をかけないものづくり

畦地 履正 ( あげち りしょう )

株式会社四万十ドラマ 代表取締役



#### ○ 登録者情報

##### 所在地

高知県高岡郡四万十町

##### 略歴

平成6年に、四万十川中流域の大正町、十和村、西土佐村が設置した第3セクター「株式会社四万十ドラマ」の事務局に勤める。平成17年に完全民営化の株式会社として自立し、四万十川の自然環境を保全しながら活用することをベースに、約30種類の独自商品の開発・販売に取り組んでいる。100%四万十茶葉で作られた大ヒット商品「しまんと緑茶」、「しまんとほうじ茶」を始め、ノベルティー商品「四万十天然ヒノキ風呂」など、環境に負担をかけないものづくりを展開。地域資源の「生産の現場」を保全しながら、活用し、そこから生まれた「商品」が地元に戻って来る「地元発着型産業」のトップランナー。さらに、商品販売だけではなく、四万十川をテーマに、本当の豊かさとは何かを考えるネットワーク会員制度「RIVER」を運営、情報交換や交流会を通じて田舎と都会の双方向の村づくりをすすめています。

平成19年度 農林水産省「立ち上がる農山漁村」認定  
平成19年度 高知県「高知県地場産業大賞」大賞受賞  
平成20年度 経済産業省「ソーシャルビジネス55選」認定  
平成22年度 地域づくり総務大臣表彰 優秀賞受賞

## ○「ローカル・ローテク・ローインパクト」四万十川に負担をかけないものづくり

### 取組の内容

四万十川の自然環境を保全しながら活用することをベースに、環境・産業・ネットワークを循環させながら、四万十川に負担をかけないものづくりをしています。その具体的なコンセプトは「ローカル」「ローテク」「ローインパクト」これらが循環する新しいコミュニティビジネスを展開しています。この考え方の軸に「ローフード」「ローライフ」の提唱を加え、山と川の暮らしと天然素材に新しい価値観をつくり流域に住む人とともに生活文化、技術、知恵、風景を残しながら、四万十川流域の新たな産業をつくります。

- ・「ローカル」とは、四万十川を共有財産に足元の豊かさ・生き方を考えるネットワークの構築すること（会員制度・観光産業）
- ・「ローテク」とは、農林漁業に生きづく技術や知恵や第1次、1,5次産業にこだわること（商品づくり・産業づくり）
- ・「ローインパクト」とは、四万十川に負荷をかけない風景を保全しながら活用する仕組みをつくること（環境ビジネス・風景保全）

この考え方の軸に「ローフード」「ローライフ」の提唱を加え、山と川の暮らしと天然素材に新しい価値観をつくり流域に住む人とともに生活文化、技術、知恵、風景を残しながら、四万十川流域の新たな産業をつくります。



ひのき風呂

### 実績

#### 「四万十のひのき風呂」

製材所から出る四万十川ひのきの柱の端材をリサイクルした商品。捨てていたひのきの端材に、ひのきの油を染み込ませて、焼き印をいれました。ポリのお風呂のまわりに置くだけで、ひのき風呂に入ったような感覚になります。捨てていたひのきの端材が商品になりました。

生産販売数 700,000枚 平成24年3月末

#### 古新聞が循環する 四万十川方式リサイクルバッグ「四万十川新聞バック」

古新聞をレジバッグとして再活用する運動を四万十川流域からスタートさせようと新聞紙古紙100%のバックをつくりました。「リサイクル商品である古新聞を包装資材として生活場面で再利用していき、四万十川流では古新聞を使用する事を一つの哲学とし、流域の考え方アイデンティティーとしたい。」このバックを作成したのは、四万十町(旧十和村)に住む主婦。この方を先生に、この袋を地元の方がつくるようにしたい。まずは流域から、そして全国へ。海外にも輸出され、エコバックとしてメディアにも取り上げられています。

生産販売数 70,000枚 平成24年3月末

### 工夫した点や苦労した点

#### 「考え方をデザインする四万十のアイデンティティー商品」

四万十ドラマの商品開発は、「ローカル・ローテク・ローインパクト～四万十川に負担をかけないものづくり」がテーマです。

この3つの言葉をキーワードとし、地元にあるものに、できるだけ手をかけないで、地域資源を発掘し、見直しをして「考え方」をつくってきました。ここで重要なのは「デザイン」という視点です。その商品の持つ本質をデザインすることでわたしたちの考え方が広がっていきます。風景から生み出された力をわたしたちは商品開発に活かしています。

## ひとことPR

四万十の風景は食べ物の生産現場の風景です。どんなに商品が話題になって売れたとしてもその原料を生む環境が荒廃しては意味がありません。四万十川は環境が命です。この環境から生み出される恵みがあるからビジネスができる。生産現場を復興しながら風景を守り、育み、流通させ、その商品に四万十川の考え方を流通させるようなビジネスを生むことが四万十ドラマの使命です。そのことは、これから日本が向かわなければならない道のような気がします。



新聞バッグLMS

## ○ 参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他(NPO支援)
○	6	観光振興・交流			

### 関連ホームページ

株式会社四万十ドラマ	<a href="http://www.shimanto-drama.jp/">http://www.shimanto-drama.jp/</a>
リショーク	<a href="http://www.shimanto-drama.jp/">http://www.shimanto-drama.jp/</a>
道の駅「四万十とおわ」	<a href="http://www.shimanto-towa.com/">http://www.shimanto-towa.com/</a>

### 連絡先

メールアドレス	risho[アットマーク]shimanto-drama.jp	その他	
---------	--------------------------------	-----	--

※メールを送る際は[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る